

「まちを知る・楽しむ・まちから学ぶ」室蘭中央町活性化事業

中央町たのしまさる会議@室蘭

「たのしまさる会議」の結成の経緯とこれまでの活動

かつて賑わいを見せていた室蘭市中央町は、人口の減少や高齢化等の影響から、今では“シャッター商店街”と呼ばれるほど空き店舗が多くなっており、その活性化が急務となっています。

私たち、「中央町たのしまさる会議@室蘭」(以下、「たのしまさる会議」という)が誕生したのは、中央町の活性化を目的として室蘭市が呼びかけた“オープンスペース「中央町たのしま横丁」”の活用の実証実験がきっかけです。この実証実験終了後、活動に積極的に関わっていた市民有志により、令和4年市民活動団体として再スタートしました。

その後、「たのしまさる会議」は、“地域の交流人口の増加”、“店舗新規出店者の参入呼びかけ”、“中央町に愛着をもつ市民の育みの向上”等による地域の価値向上を図ることを目的として、以下のまちづくり活動を行ってきました。

①まちを知る「まちあるき探検団」の実施

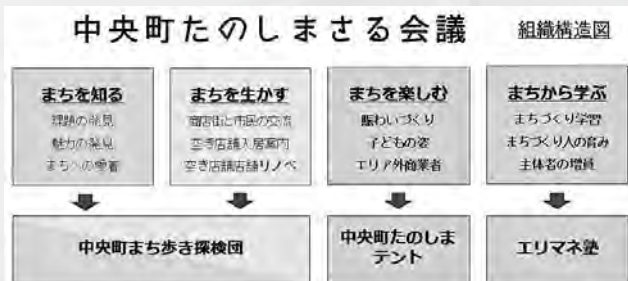
空き店舗の状況などを観察・調査し、空き店舗解消につなげる。

②まちを楽しむ「たのしまテント」の実施

多くの市民に来てもらう楽しいイベントを開催し、賑わいのあるまちの良さを体験、可視化する。

③まちから学ぶ「エリマネ塾」の実施

まちづくり講演会等を開催し、まちづくりの必要性を認識してもらう。



令和5年度の事業

令和5年度は、これまで行ってきた事業の一層の促進と、会の基礎固めとして以下の事業を行いました。

中央町まちあるき探検団

令和5年7月16日に空き店舗の内見ツアーを11名で行いました。



まち歩き探検団「空き店舗内見ツアー」

また、同年12月25日には室蘭港へ来港した客船に対して、空き店舗を活用した「おもてなしサービス」(着付け体験、お茶のサービス、お土産案内等)を行いました。この試みには多くの来場者があったことから、空き店舗の活用方法の一環がみえたような気がします。次年度以降、室蘭市や商店街と協働してこの取り組みを増やしていこうと思っています。



まち歩き探検団「おもてなし」案内リーフレット

たのしまテント

たのしまテントは、中央町への来場者の増加と、増加によるまちの活性化の見える化を目的とし、物販・飲食販売・WSなどを行うもので、「たのしまさる会議」発足依頼、最も多く実施しているイベントです。

令和5年度は、7/29：旧たのしま横丁、7/16、9/17：中央町小公園、7/29：蘭西ギャラリー、翌年3/2：中島きらん、といろいろな会場で開催し、たくさんの市民に来ていただき賑わいました。



たのしまテント ちびっこ縁日 7/29



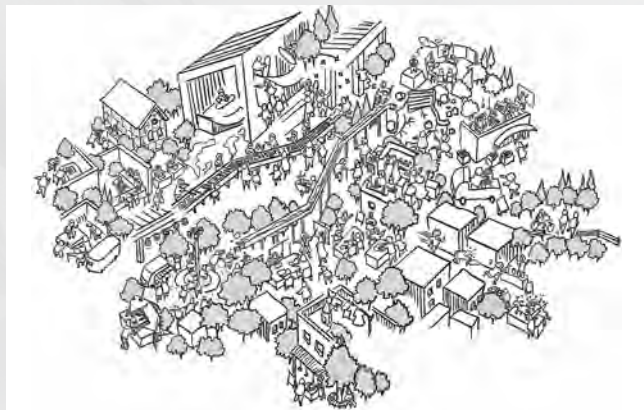
たのしまテント キャンドルナイトフェス 9/17

エリマネ塾

この会の特色の一つとして、単にまちの課題に対処するのではなく、まちづくりを学びながら、課題の対応方法をいろいろな角度から検討し、幅広い人たちを巻き込み、まちづくりを行っていかうとする「エリマネ塾」活動を行っている点にあります。令和5年度は、以下の2つの大きなまちづくり講演会を行いました。

講演者：林匡宏氏『使いやすいまちを考える』

12/9：参加者20名。既定の概念にとらわれないまちづくりを勧める林氏の講演は、とても新鮮で新たな気づきを誘引させ、心をときめかされるものでした。



林さん制作のドローイング図 「中央町の未来」

講演者：園田聡氏『豊かな暮らしのシーンをつくる～アクティビティファーストの都市デザイン～』

3/2：参加者50名。著書「プレイスメイキング」に示されている『まちの空間等の活用により、使う人自身が自分の居場所として大切にする、いわゆる“パブリックスペース”をつくり、その活用を通じて愛されるまちをつくる』ことに重きを置いた講演でした。また、印象に残った言葉としては、①まちづくりにおいて話し合うことは最も必要なこと、②暮らしを良くすることを「まちづくりの目的」とすることは、まちづくりを自分のものとして考えることに繋がるので大切、という点でした。貴重な言葉でした。

おわりに

令和5年度の活動は、前述した取り組みに加えて、ホームページの制作を行うことができました。今後は情報の受信能力が格段に増すものと考えています。これも、北海道開発協会様の支援のおかげと考えており、これにより当会の活動の基礎を築き上げることができたと思っています。

また最近、室蘭商工会議所や経済同友会等から、「力を合わせてまちづくり活動を行えないか」等の話もあり、私たちが行ってきたことが認められてきたと嬉しく思っています。また、近隣の商店街とは、令和6年度のイベントの共同開催が決定するなど、「たのしまさる会議」の地域の位置づけが徐々に高まってきていると感じています。

今後は、活動の継続的な安定化を図りつつ、「中央町エリアの活性化やまちづくりなら、まず、たのしまさる会議に相談しよう！」という気持ちを、市民の皆さんに持っていただけるよう、努力したいと思っています。

中央町
たのしまさる
同議



<https://tanoshima.site>